なわてBOOKS【２０２１年３月号】

今月からは恵文社生活館の星山さんの後任として、恵文社一乗寺店の能邨さんが毎月のお薦め絵本を紹介して下さいます。今月は３冊の素敵な絵本を選書してくださったので順にご紹介致します。

『うろおぼえ一家のおかいもの』　　出口かずみ作 ／ 理論社/1430 円　2021 年 2 月刊行

出たばかりの絵本です。とにかくなんでも「うろ覚え」の一家が巻き起こす**ちょっとスラプスティックなおはなし**。ユーモラスな状況設定で独特の味わいの絵本を手がける出口かずみさんの世界が楽しめます。**言葉遊びの絵本として読んでも面白い**と思います。

『ここは』　　最果タヒ 文、及川賢治 絵 ／ 河出書房新社/1430 円　2020 年 6 月刊行

若手の**人気詩人・作家の著者がはじめて手がけた絵本ということで話題**になった一冊です。「ここ」という場所は**見方や立場によって様々に変わる、**ということをやさしく楽しく子どもたちに伝えてくれます。絵は、以前に納めさせて頂いた「ねこのセーター」と同じイラストレーターで、この方の絵も作品に独特の味わいを与えているかと思います。

『よるのかえりみち』　　みやこしあきこ作 / 偕成社　/1430 円　2015 年 5 月刊行

お母さんに抱っこされて帰る帰り道。昼間の時間を静かに終えて夜に向かおうとしている街の風景や香りや音までもが伝わるような**独特の抒情を感じられる絵本**です。外国風の街並みと登場人物たちは動物、という**作者特有の世界観も魅力で当店でもロングセラー**です。

【なわて BOOKS】
毎月、京都の恵文社一乗寺店さんからなわて幼稚園の図書室に届く、スタッフがお薦めする最新の絵本や話題の絵本をご紹介しています。

【恵文社一乗寺店】
２０１０年にイギリスのガーディアン紙が発表した「世界でもっとも素晴らしい書店１０選」に日本から唯一選ばれた京都・一乗寺にある書店。

http://www.keibunsha-books.com/